

7月7日は「エンゲージメントデー」

一年に一度、大切な人との結びつきを思い出す日！

第1回ベストエンゲージメント2013 受賞者発表

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：冨塚 優）が運営するブライダル総研が事務局を務める「エンゲージメントプロジェクト」は、7月7日に「第1回ベストエンゲージメント2013」の受賞者発表会を開催いたしました。その様子をご報告いたします。

※「エンゲージメントプロジェクト」とは

人との結びつきを言葉とカタチにする大切さを伝えることで、「精神的な豊かさの溢れる社会づくり」を応援します。また、「エンゲージメント」をキーワードとした、新しい「つながり」の消費マーケット活性化を支援するプロジェクトとして、昨年12月21日に設立いたしました。7月7日は一年に一度、大切な人との結びつきを思い出し、あらためて伝え、願う日として、「エンゲージメントデー」と制定しました。

<構成>

【設立年月日】2012年12月21日

【オフィシャルパートナー】株式会社三越伊勢丹、一般社団法人日本ジュエリー協会(JJA)、結婚情報誌『ゼクシィ』

【後援団体】公益社団法人日本ブライダル文化復興協会（BIA）、日本書店商業組合連合会

【事務局】リクルート ブライダル総研

「第1回ベストエンゲージメント2013」開催報告

<概要>

■日時：2013年7月7日（日）10:30～12:00

■会場：銀座三越 9F テラスコート

■内容：“絆”で結ばれている「ファミリー」「カップル」「フレンド」からベストエンゲージメントを、一般部門とプロジェクト推薦部門よりそれぞれ発表し、表彰いたしました。

■URL：<http://egmt.net/event/bestegmt2013.html>

<受賞者紹介> ※受賞理由は次ページ

■プロジェクト推薦部門

【ファミリー部門】高橋英樹氏・高橋真麻氏親子

【カップル部門】有村昆氏・丸岡いずみ氏夫婦

【フレンド部門】新体操日本代表フェアリージャパンPOLA

(畠山愛理選手、松原梨恵選手、サイド横田仁奈選手、深瀬菜月選手、加畑碧選手、杉本早裕吏選手、国井麻緒選手、宮本望来選手、熨斗谷さくら選手)

■一般部門

恋人から、親から、子供から、友達から・・・大切な人からもらったプレゼントとともに贈られた言葉や宝物になったエピソードを一般より募集し、受賞者を決定しました。

【ファミリー部門】東京都中央区 本宮 絵美さん

【カップル部門】宮城県仙台市 北川 春菜さん

【フレンド部門】千葉県千葉市 中臺 孝樹さん

【エンゲージメントジュエリー賞】東京都江東区 木原 知子さん

人生に、もっと幸せな結び目を。
engagement
エンゲージメント

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

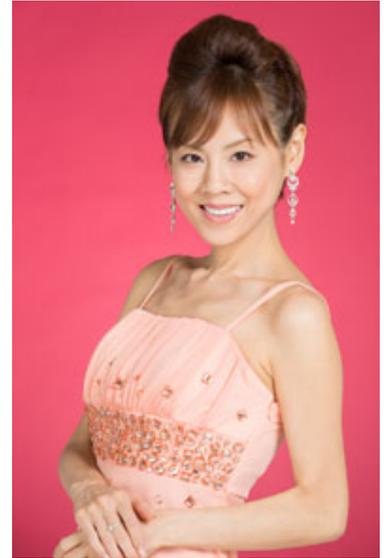
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

<受賞理由> プロジェクト推薦部門

■ファミリー部門

高橋英樹氏・高橋真麻氏親子

高橋英樹さん・真麻さん親子は、誰もが認める芸能界きっての仲良し親子。今年、真麻さんがフジテレビを退社しフリーアナウンサーになったことで、親子としての登場の機会も増えました。仲のいい雰囲気の中にも厳しさや愛情を感じ取れるおふたりです。



■カップル部門

有村昆氏・丸岡いずみ氏夫婦

東日本大震災の取材で厳しい現場を目の当たりにして精神的ショックを受け、番組を降板して徳島の実家に帰った丸岡さんを、有村さんは持ち前の明るさでサポートし、優しく見守りつづけてきました。昨年8月に結婚し、今年1月に結婚式を挙げられました。



■フレンズ部門

新体操日本代表フェアリージャパンPOLA

(畠山愛理選手、松原梨恵選手、サイド横田仁奈選手、深瀬菜月選手、加畑碧選手、杉本早裕吏選手、国井麻緒選手、宮本望来選手、熨斗谷さくら選手)

共同生活を通じて、厳しい練習を共に乗り越え、世界の頂点を目指して切磋琢磨を続ける9人の仲間たち。その中で芽生えた仲間との絆は、まさに「エンゲージメント」です。



<受賞理由> 一般部門

■ファミリー部門

亡くなったお婆様より、1歳の孫娘へのプレゼントだった、ファーストシューズ！



【東京都中央区 本宮 絵美さん】

～エピソード～

娘が誕生して、まもなく。元気はつらつが自慢の母が癌であることが発覚し、余命一年と言われました。まだ、56才という若さだったので手術をしたのですが、病魔はすすむばかりで、みるみる弱っていく母でした。そんな中、私の娘の1歳のお誕生日に、まだ歩き出さないことを心配して、ファーストシューズをどうしても買ってあげたいと、主治医に無理を言って、一時外出をさせてもらい、娘にピッタリな靴を買ってくれました。それから2ヶ月もしないうちに、自分の57才の誕生日の日に亡くなってしまいました…。その後娘は、プレゼントしてもらったファーストシューズを履いて、トコトコ歩き出しました。ポロポロになってしまいうまで愛用した、このファーストシューズは、娘と母の思いがいっぱいつまったたいせつな大切な私の宝物です。

■カップル部門

震災の日にも壊れなかった、二人をつなぐ、ウサギのオルゴール！



【宮城県仙台市 北川 春菜さん】

～エピソード～

もともと私が小さな頃から大切にしていたウサギの女の子のオルゴールがあったのですが、2人暮らしを始めて食器を揃えに行ったリサイクルショップで、偶然、私のオルゴールの対になるウサギの男の子のオルゴールを発見したので。古くて、もう音も割れていたし、引っ越したばかりで金銭的に余裕がなかった事もあり、見つけた日は諦めて帰りました。しかし帰宅してからもなんとなく頭を離れず、とても気になる存在になってしまいました。数日間経って、また週末を迎えれば、もしかしたら売れてしまうかも…と思っていた時、彼が、「あのオルゴールを迎えに行こう！」と言って、仕事帰りで疲れているはずなのに、リサイクルショップに行き、購入してくれました。隣県同士の出身の私達だったので、きっとこのオルゴールも同じように県をまたいで相手を待っていたはず、と言ってくれたのが、珍しくロマンチックで、とても嬉しかったです。震災もどうにか割れる事なく乗り越え、今も二匹仲良く飾ってあります。

■フレンズ部門

カメラマンの僕が、映る側になっている写真



【千葉県千葉市 中臺孝樹 さん】

～エピソード～

大学の同級生であるアメリカ人の友人と、彼の生まれ故郷であるマニラに旅をしていたとき、空港の近くに、街の発展とはかけ離れた、電気もないとても貧しい村に出会いました。まるで時代から取り残されたようなその村で、僕らは一日を過ごしてみることを決め、村を見せてもらったり、ホームレスの子ども達と走り回って遊んだり、村の人達と、すっかり仲良くなりました。普段僕はカメラマンなのですが、自分が映っている写真はそう多く持っていません。その村で友人が撮ってくれたこの写真は、人と人との関係性を作るために必要なものは、とてもシンプルなのだと思います。僕の宝物の写真です。

■エンゲージメントジュエリー賞

歯科技工士だった父の手作り指輪



【東京都江東区 木原 知子さん】

～エピソード～

歯科技工士だった父の手作りによる銀の指輪。義歯(入れ歯)とは勝手が違ったらしい。思ったより難しかった、というその指輪には、言い訳のとおり、少し不恰好な継ぎ目がある。寸法を取ったわけでもないのに、私の指にぴったりだ。娘のアクセサリーに関心などなかったと思う。もしかしたら、仕事中心で聴いていたラジオが入れ知恵したのかもしれない。「父から娘へ、ファーストジュエリー」なんて、DJの軽口に乗せられて、ちょっとしゃれたことをしようと思ったのか。作業机に向かう父の後ろ姿しか見えなかったけど、驚く私の顔を思い浮かべて笑ったりしたのだろうか。それにしても、父はどうして大人になった私の指のサイズが分かったのだろうか。幼い頃こそ、よく父に手を引かれて歩いたものだが、私とその手を離し、独りで歩くようになって、父は私の手を育て続けていたのか。大人になって父の手を握ったのは、死の床にあった父に最期の別れを告げた、そのときだけだった。